

# 進路指導に役立てて

## 高校教諭ら事業所視察

岡谷市と岡谷商工会議所、岡谷労務対策協議会は23日、諏訪・上伊那地域などの高校の進路指導担当職員らを招いた事業所視察を市内で行った。人手不足を背景にした採用意欲の高まりで、本年度は受け入れ希望企業が定員を超える中、13校の16人が地元事業所を回って理解を深めた。

地域の企業に目を向け、高校3年生の就職の参考にもしてもらおうと、労対協の会員企業との協力で実施。事務局によると例年は定員割れをすることもあったが、本年度は「労働力不足もあり、新卒採用への意識の高さを肌で感じた」という。

長地梨久保1、精密部品製造・加工のニシキ精機では入社後より具体的にイメージしてもらおうと入って2、3年目という若手社員が案内。代表取締役の山田昌義さんは



社員④から説明を聞く参加者＝長地梨久保1のニシキ精機で

「求める人材はあるが、最終的にはやる気があ

るかないか。生き方を明確にしてやりがい、

生きがいを持って働いてもらえることが目標」などと語った。

新卒で入社2年目という熊谷夏美さん（辰野高校出身）は「大変なこともあるけれど、先輩たちの支えで乗り越えられる。私も将来は支えられる人になりたい」とし、「会社を自分の目で見て見極めることが大切」と自身の経験を語った。

諏訪実業高校で進路指導を担当する小平紀文教諭は「いろいろな業種があり、求める若者像が違つことが分かった。地元の企業が元の若者を育てようとしていくことがうかがえ、今後の指導の参考になった」と話していた。

### 特集 スポーツ

別面に4ページで

塩嶺王城パークライン-half マラソン大会出場選手を特集

本紙編集局

### 湖周最終処分場

関連記事を辰野面に掲載しています。

本紙編集局